

# 生活文化スポーツ部経営方針（令和3年度）

生活文化スポーツ部長

八角 千里

産業振興担当部長 兼 オリンピック・パラリンピック担当部長

渡辺 直樹

## ◆部長職からひとこと

生活文化スポーツ部長 八角 千里



生活文化スポーツ部は、多様な主体との連携・協働により、「豊かな芸術文化・スポーツ活動を育むまちづくり宣言」に連なる取組を多面的に展開し、市民交流や地域活動の支援を通じて、市民生活の質の向上や地域の活性化に取り組んでいます。

しかしながら、この1年余り、市民生活の様々な局面において、これまで経験したことのない多くの困難に直面し、市内の各種イベントや地域活動においても、様々な影響が生じるなど、市民生活を取り巻く環境は大きく変化しました。こうした社会が変化する中であっても、人と人とのつながりを大切に、心豊かなまちづくりを進めていかなければなりません。

令和3年度は、こうした観点に立って、後期基本計画の3年次目として、市民の健康・安全を守ることを最優先に、状況の変化にも的確に対応し、各施策・事業の推進において、創意工夫を重ねて参ります。併せて、次期総合計画の策定に向けた検討とも連動して今後の展望も見据えつつ、諸課題への対応や各種取組の着実な推進を図って参ります。

産業振興担当部長 兼 オリンピック・パラリンピック担当部長 渡辺 直樹



コロナ禍における市内事業者等の支援については、地域経済対策会議での議論を踏まえながら、引き続き国や東京都の取組と連動した市独自の支援策を実施して参ります。観光振興においては、水木プロダクションが展開する「水木しげるの生誕100周年プロジェクト」（令和3年3月8日～令和6年3月7日）に合わせ、作品や著作、文献などの御功績をまちづくりに生かしつつ後世に伝えていく施策を推進して参ります。

農政分野においては、「特定生産緑地地区」指定に向けた取組や学童農園の新規開設、平成11年度以来の営農ボランティア新規募集など、農業振興計画の着実な推進に向け、関係機関・団体とも連携して推進して参ります。

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて延期となった東京2020大会の開催年を迎え、感染拡大防止の観点を含めた安全対策を最優先事項とし、開催に向けて着実に準備を進めて参ります。また、大会を契機としたまちづくりを推進するため、多様な主体と連携しながら様々な取組を展開して参ります。

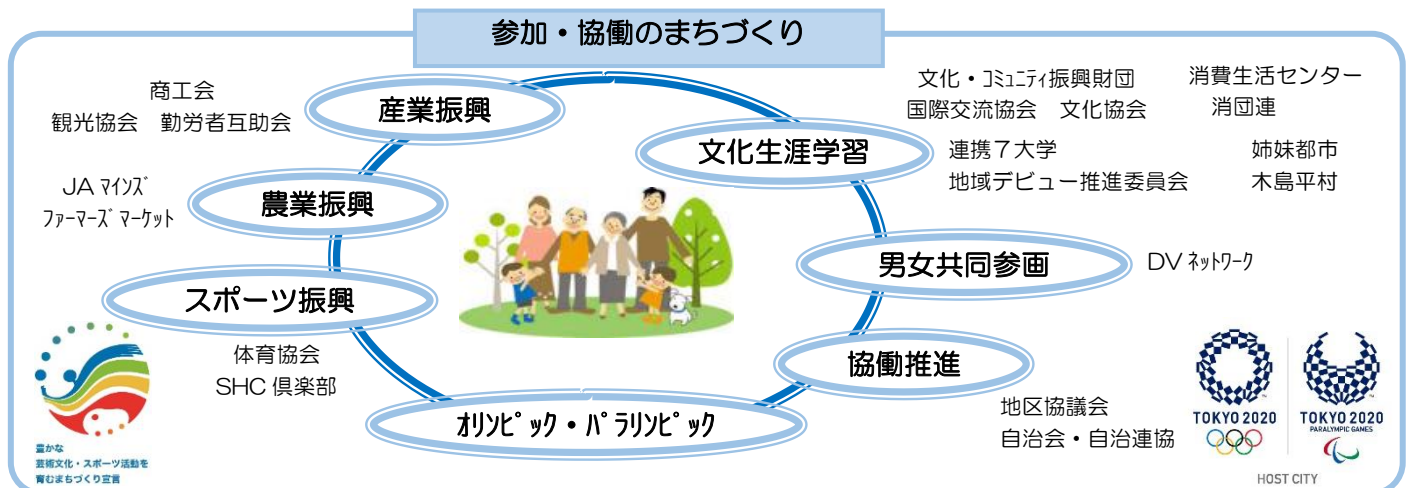
◆職員数 正規職員68人（うち管理職14人） 再任用職員4人

### ◆予算（当初）

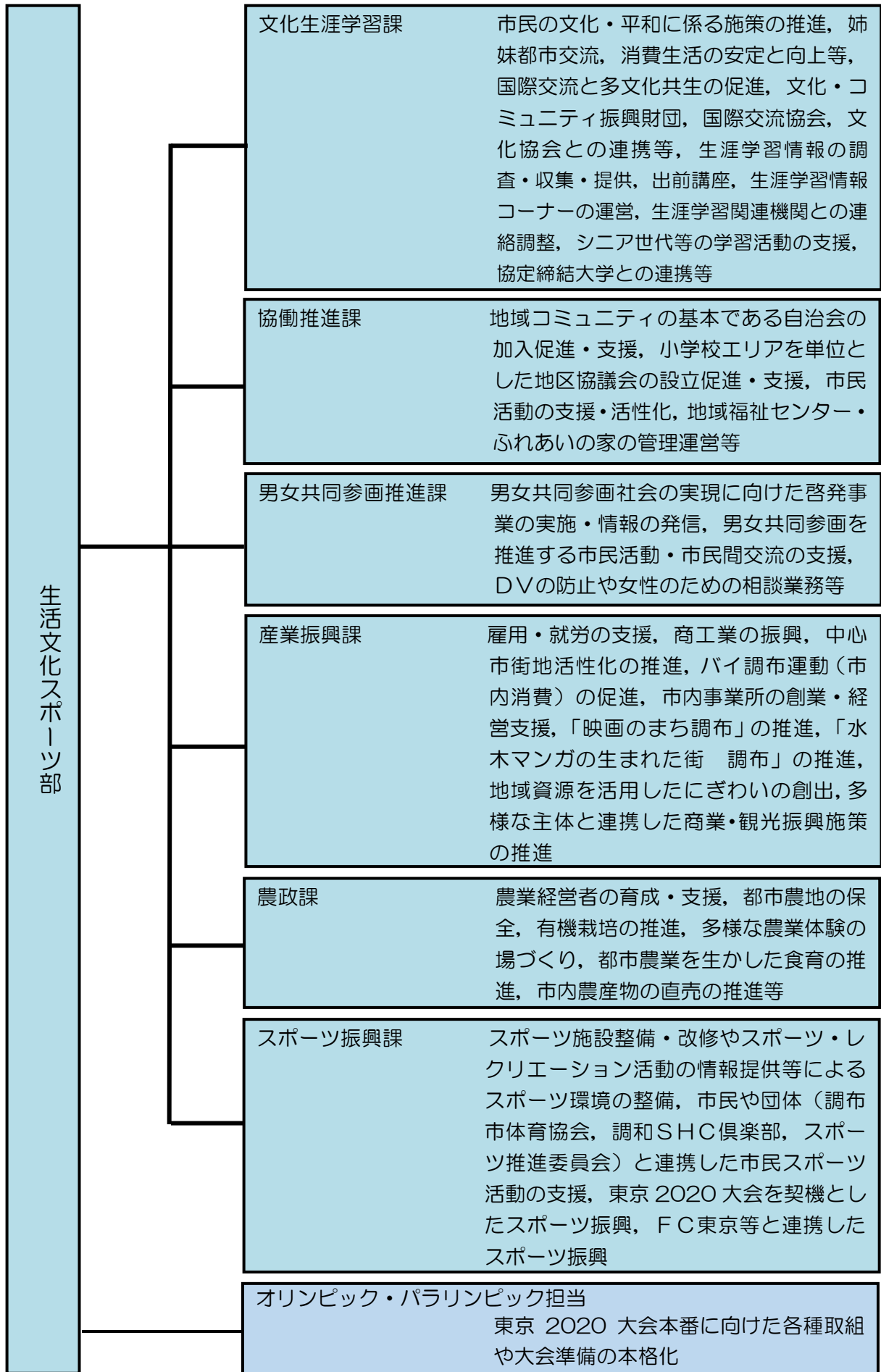
一般会計	歳入	2億5153万4000円	歳出	33億1399万円 (職員人件費を除く)
------	----	--------------	----	-------------------------

### ◆予算（第1号補正）

一般会計	歳入	10億298万円	歳出	12億8656万円
------	----	----------	----	-----------



◆組織体系図



## ◆生活文化スポーツ部の現状と課題

### <現状>

- 生活文化スポーツ部は、基本計画に基づき、公益財団法人調布市文化・コミュニティ振興財団や公益社団法人調布市体育協会、国際交流協会、文化協会、商工会、観光協会等の各団体と手を携えて、市民が健康で明るく活力に満ちた生活ができるよう市民生活に結びつく施策を推進しています。
- 各課が所管している文化施設やコミュニティ施設、スポーツ施設など40を超える公共施設について、市民が安全に安心して利用できるよう施設管理に努めています。
- コロナ禍において、文化・コミュニティ・スポーツ活動を含む社会経済活動の再開・回復についても、感染拡大防止対策と並んで対処すべき課題の一つであり、「調布市公共施設の開館・利用における感染拡大防止ガイドライン」に基づき、感染拡大防止対策を講じたうえで、公共施設の利用や各種事業、イベント等における適切な対応及び状況に応じた効果的な事業展開を図ることが求められています。

### <課題>

- 東京2020大会の開催年としての取組の推進や、大会を契機とした市のまちづくりへの多面的効果の創出に向け、様々な団体との協働、協力と庁内各部署との緊密な連携の下、各種取組を効果的に展開していくことが必要です。
- 指定管理者制度を導入している文化会館づくり、グリーンホール、せんがわ劇場、総合体育館、各ふれあいの家、市民プラザあくろすについては、市民ニーズに適切に対応するとともに、効果的、効率的に制度を活用できるよう評価・検証していくことが必要です。
- 施設の管理運営に当たっては、施設・設備の老朽化や経年劣化等を踏まえ、計画的な維持保全に取り組むとともに、利用者の声や地域の特性を踏まえた創意工夫が必要です。
- 新型コロナウイルスの感染拡大防止に向け、市民の安全確保を第一として、市民の生活様式の変化に応じて、市民や事業者等のニーズを的確に捉えながら、市内の活気やにぎわいを創出する文化・芸術・スポーツをはじめとした各種取組を効果的に展開していくことが必要です。
- 新型コロナウイルス感染症により、市内事業者の経営は大きなマイナス影響を受けています。現下の状況を踏まえ、国や東京都の動向を注視しつつ、引き続き商工会をはじめとする関係団体との一層の連携を図りながら、市内事業者の支援、市内消費喚起に取り組んでいく必要があります。

## ◆生活文化スポーツ部経営方針

### 「情報の発信と共有による効果的・効率的な連携」

生活文化スポーツ部が担う文化振興・生涯学習・協働推進・男女共同参画・産業振興・農業振興・スポーツ振興の個々のミッションについて、市民・団体・企業等との連携、民間ノウハウの積極的な活用など事務・業務の改善を図りつつ、最少の経費で最大の効果を上げられるよう取り組みます。

引き続き、基本計画に掲げる11の施策及び25の基本計画事業を着実に推進するとともに、「豊かな芸術文化・スポーツ活動を育むまちづくり宣言」に基づく取組を積極的に推進し、横断的な連携を強化することで、市民主体の芸術文化・スポーツの振興、調布のまちの魅力の向上・発信に努めます。

### 「指定管理者制度の活用」

文化会館づくり、グリーンホール、せんがわ劇場、総合体育館、各ふれあいの家、市民プラザあくろすについて、引き続き、適切な維持保全、安全な施設運営、魅力ある事業実施について、指定管理者の指導監督に努めます。また、文化会館づくり、グリーンホール、せんがわ劇場に

については、それぞれの館の特徴を生かした事業への取組とともに、3館の連携による効果的な事業の推進を図ります。

#### 「老朽化等を踏まえた適切な施設管理」

市民の文化、スポーツ、コミュニティ施設などの公共施設については、利用者の声や地域の特性を踏まえ、安全に安心して利用できる施設となるよう経年劣化への対応と施設改善に努めるとともに、公共施設等マネジメント推進検討会議などの庁内議論を踏まえ、個別施設の方向性の策定等に反映させていきます。

### ◆生活文化スポーツ部の横断的連携による施策の推進

#### ・新型コロナウイルス感染症や風水害等の危機管理に関する対応

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、所管する文化・コミュニティ・スポーツ施設の管理運営においては、「調布市公共施設の開館・利用における感染拡大防止ガイドライン」に基づき、スポーツ施設においてはF C東京と連携したソーシャルディスタンスの呼びかけポスター等を掲出するなど、各施設の状況や特性に応じて適切な感染拡大防止策を講じながら、庁内各部署及び関連団体との連携の下、適切な対応を図ります。

また、コロナ禍での外出自粛による健康二次被害対策として、調布市体育協会やF C東京等関係団体と連携し、自宅でも出来る簡単なエクササイズ動画配信等に取り組むほか、市民の生活様式の変化に応じて、市民や事業者等のニーズを的確に捉えながら、市内の活気やにぎわいを創出する文化・芸術・スポーツをはじめとする各種取組を効果的に展開します。

施設の休館や業務縮小等を必要とする災害対応に当たっては、施設の休館判断基準の検討や、各関係団体等との連携による被災状況の的確な把握、災害発生から復旧・事業再開に至るまでの市民への効果的な情報提供等について、庁内各部署や関係団体と連携しながら、検討を進めます。併せて、文化会館たづくり及びグリーンホールにおける風水害時の避難所運営マニュアルの策定や、災害時における監理団体との連携協定の締結など、避難所としての体制整備を進めます。

#### ・行政のデジタル化による市民の利便性向上や事務の効率化に関する取組

新型コロナウイルス感染症対策としての各事業・イベント等における動画配信を含むオンライン化により、新たな市民の参加機会拡大にもつなげていくほか、各種会議におけるWeb会議の積極的な導入により、効率的な会議運営の推進を図ります。

#### ・オリンピック・パラリンピックに向けた取組の推進（パラハートちょうふ関連を含む）

昨年、大会の延期が決定された後、競技日程や聖火リレーのルートのほか、新型コロナウイルス感染拡大防止対策の対応方法などが示されてきました。既にオリンピック聖火リレーはスタートし、7月15日に調布市内を通過します。また、大会期間中にはコミュニティライブサイト等を実施しますが、市民の安全安心を第一に適切な対策を図り、「オール調布」体制での取組を推進します。そのために、「オール調布」体制の核となる全体会議をはじめ、推進本部、推進会議、おもてなしプロジェクトチーム等の庁内外の連携組織による情報共有の一層の充実や情報発信の強化を図り、市民の参加機会の創出を図ります。

また、多摩26市で構成する東京都市オリンピック・パラリンピック連絡協議会などを活用し、広域的な連携による多摩地域全体の振興にもつなげる取組を実践します。

さらに、大会期間中はもとより、令和2年度に引き続き、福祉やスポーツの分野にとどまらず、健康、教育、文化、環境、まちづくりなど多岐にわたる事業を展開する中で、「パラハートちょうふ～つなげよう、ひろげよう、共に生きるまち～」を掲げ、様々な障害に対する理解を深めるべく、共生社会の重要性を市内外に発信します。

#### ・多様な主体と連携した社会経済活動の回復・活性化に向けた取組の推進

京王電鉄やイオンエンターテイメントを含む各関係企業、商工会、商店会、観光協会と連携

し、社会経済活動の回復・活性化に取り組みます。

#### ●「映画のまち調布」の推進

イオンシネマ シアタス調布を含む映画・映像関連企業や団体と連携しながら、「映画のまち調布 シネマフェスティバル」をはじめとする映画関連事業を実施し、「映画のまち調布」の推進につながる施策の更なる充実を図ります。

また、ロケツーリズムの推進に向け、他自治体との広域的な連携の下、フィルムコミッション事業に積極的に取り組みます。

#### ●グリーンホールに関する整備の検討

築40年以上が経過しているグリーンホールについては、行革プラン2019に基づき、今後の更新を見据えて、整備手法、コストに関するシミュレーション等を踏まえたより具体的な検討に取り組むとともに、施設利用者や広く市民との情報共有を図りながら、ホール機能に関する検討を進め、市の整備に関する考え方を取りまとめます。

#### ●DV（ドメスティック・バイオレンス）被害者の情報管理の徹底

DV被害者と接する可能性のある窓口関係部署と連携し、DV被害者の個人情報保護に取り組みます。

#### ●男女共同参画推進プラン モデル事業所の推進

女性活躍推進法の施行を踏まえ平成29年3月に改訂した男女共同参画推進プラン（第4次）に基づき、政策・意思決定に当たりこれまで以上に女性が参画することを目指して庁内各課に働きかけるとともに、男女がともに働きやすい職場となるよう人事課と連携して取組を推進します。併せて、令和4年度以降を計画期間とする次期男女共同参画推進プランの策定に取り組みます。

#### ●都市農地の保全・活用

都市農地については、改正生産緑地法や改正都市緑地法等を踏まえ、関係部署と連携し、農地の保全を図るとともに、防災機能の強化として災害時には誰でも使える防災兼用農業井戸の整備等を進める都市農地保全支援プロジェクト事業の実施、農業経営の支援や市民農園の運営等により、農地の持つ多面的機能をより発揮させる活用に取り組みます。

#### ●障害者スポーツの振興

東京2020大会、とりわけパラリンピックを契機としたレガシーの創出に向けた取組を推進するため、競技団体や関係団体と連携した障害者スポーツ体験会の実施等、障害の有無にかかわらず、誰もがスポーツに親しむ機会を創出することで、スポーツを通じた障害理解の促進や共生社会の一層の充実に向けた取組を進めます。

取組の推進に当たっては、障害福祉課や東京都、公益社団法人東京都障害者スポーツ協会等の関係団体と連携し、スポーツ分野と福祉分野の関係者による「調布市障害者スポーツの振興における協議体」を活用し、共生社会の実現に向けた課題整理や情報の提供・共有を行うとともに、課題解決に向けた事業を実施します。

### ◆各課の基本的な目標・方針等

#### オリンピック・パラリンピック担当

##### ●「調布市アクション&レガシープラン」事業の推進

「2020年に向けた調布市の取組方針」の具現化を図り、大会の準備段階から開催後にわたり長期的・継続的に東京2020大会により享受できる有形・無形のレガシーを創出し、調布のまちの更なる発展と多摩地域全体の振興につなげていきます。

##### ●大会本番を迎える「オール調布」での取組

大会本番に向け、市民が参加できる大会とするため、おもてなしボランティア養成事業や聖火リレーサポーターの募集、市内高校に協力を依頼する自転車ロードレースコースサポーター

等の取組を進め、市民が参加する機会の確保を図ります。また、東京都と連携した市立小・中学校の全児童・生徒の学校観戦や市民観戦事業の実施など、大会を「みる」機会の確保に努めます。また、大会期間中のコミュニティライブサイトの展開においては、ラグビーワールドカップの経験を活かし、多くの市内団体・事業者と連携した取組となるよう、準備を進めます。

一方、コロナ禍での大会開催となるため、市民の安全安心を第一に大会に関係する全てのイベント等で適切な新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じます。

また、大会後のレガシーを見据え、多摩26市3町で連携して取り組んでいる「東京都市町村ポッチャ大会」や、調布市、府中市、三鷹市の連携事業である「ラグビーフェスティバル」などの広域連携事業については、令和3年度以降も継続可能なスキームを各市と連携しながら構築していきます。また、大会関連事業で繋がりが構築された福祉団体等との継続的な連携や、相互協力協定を締結した一般社団法人日本車いすバスケットボール連盟をはじめとする各種競技団体と連携した取組を推進します。

## 文化生涯学習課

### ・「豊かな芸術文化・スポーツ活動を育むまちづくり」の推進及びオリンピック・パラリンピックの機会を捉えた各種取組

「豊かな芸術文化・スポーツ活動を育むまちづくり宣言」に基づき、市民が身近に芸術文化に親しみ、自ら活動できるよう、芸術鑑賞事業の実施や市民の作品を発表する機会を提供するなど、宣言に沿った事業を推進するとともに、市民団体等に宣言やシンボルマークの活用をお願いするなど、宣言の周知と更なる普及啓発を図ります。

また、オリンピック・パラリンピック開催の機会を捉えた取組としては、芸術文化における共生社会の実現を目指し、障害理解の更なる促進を図ることを目的に平成29年度から継続している「パラアート展」を開催します。併せて、コミュニティライブサイトにおけるパラアート展の関連ワークショップにおいて、障害の有無や性別、年齢等にかかわらず、誰もが参加できるアート活動を通じて、共生社会の充実に向けた啓発を行うなど、市の「パラハートちょうふ〜つなげよう、ひろげよう、共に生きるまち〜」の取組を効果的に発信します。

ホストタウンとしてのサウジアラビア王国については、市民にアラビア文化を紹介する「サウジアラビア展」を開催するほか、サウジアラビアの留学生との交流事業等を通じて、更なる交流の促進を図ります。そのほか、文化協会をはじめとする市民団体や文化・コミュニティ振興財団など多様な主体との連携により、芸術文化への市民の関心や活動の拡大、次世代のアーティストの育成、伝統文化の再認識と継承につながるよう、まちづくり宣言に基づく各種事業を展開します。

### ・平和祈念事業、国際交流と多文化共生の促進

幅広い年齢層の市民に平和について考える機会を提供するため、各種平和事業を実施します。また、戦争体験や平和への想いを風化させることなく継承するため、市民の戦争体験や被爆地へ派遣した中学生の学びを広く市民へ伝えるなど、平和の大切さや命の尊さを全ての世代に語り継いでいきます。令和3年度は長崎市へ中学生を派遣するとともに、日本非核宣言自治体協議会に加入し、長崎市との平和交流を推進します。

国際交流の促進においては、世界の様々な文化や人々との相互の認識と理解を深め、共に暮らしていける地域社会づくりを促進するため、国際交流協会等との連携の下、各種国際交流事業を実施します。

### ・姉妹都市木島平村との交流

より多くの市民に姉妹都市木島平村の魅力を伝えるとともに、更なる交流の推進を図るための事業展開を図ります。

### ・生涯学習のまちづくり

「調布市生涯学習振興プラン」に基づく事業を展開するほか、現行プランの計画期間終了後

を見据え、今後の生涯学習振興の方針等についての検討や課題整理を行います。

生涯学習情報コーナーでの情報提供のほか、市内公共施設や民間商業施設、その他、民間の取組も含めた市内各種イベントなどにおいて、生涯学習まちづくり推進員のアウトリーチ（出張相談）を行うなど、積極的な情報発信を行います。また、シニア世代を主な対象として、サークル体験事業や地域デビュー事業を市民との協働により実施するほか、生涯学習出前講座をはじめ多様な学習機会や生涯学習活動のきっかけづくりに努めます。

#### ・相互友好協力協定締結大学との連携

協力関係にある7大学（市内4校、市外3校）と双方にとってメリットある市民生活の課題解決に資する協力事業の実施に向け調整を進めるとともに、各大学の魅力を市民へ伝え、市民の生涯学習にもつながるよう、引き続き、連携の強化を図ります。

#### ・公益財団法人調布市文化・コミュニティ振興財団との連携及び文化施設の維持管理

文化会館たづくり、グリーンホール及びせんがわ劇場は、指定管理者である（公財）調布市文化・コミュニティ振興財団による管理・運営を行っていることから、それぞれの館の特徴を生かすとともに、3館の連携による効果的な事業の推進を図ります。また、引き続き、適切な維持保全、安全な施設運営、魅力ある事業展開などの視点から、市との連携強化の下、指定管理者の指導監督に努めます。

グリーンホールの今後の更新に向けては、施設利用団体や市民と情報共有を図りながら、引き続き、ホール機能の検討に取り組みます。

#### ・消費者行政について

近年、全国の消費生活センターに寄せられる相談内容は、相談者の年代を問わず、複雑で高度化し、多様化している傾向にあることから、調布市消費生活センターでは、市民の消費生活相談に適切に対応するため、専門相談員が被害解決に向けた助言、あっせん等を行います。

また、市民が安全で安心な消費生活を送ることができるよう、消費者被害の未然防止及び拡大防止に向けた効果的な情報発信を行い、消費者トラブル等に関する啓発事業の充実を図ります。

さらに、消費者教育推進法に基づき、出前授業、消費者講座、イベント等において消費者教育を実施するとともに、他部署との連携を図りより一層、消費者の意識啓発に努めます。

### 協働推進課

#### ・地域コミュニティの活性化に向けた支援

地域のつながりや連帯感を持つことができるコミュニティの醸成を目指し、自治会連合協議会との連携により自治会に対する効果的な支援策について協働で取り組みます。また、地域の自治会、市民、各種コミュニティ団体のネットワーク組織である地区協議会の運営支援を行うとともに、各地区の課題解決に向けた具体的な取組として、未設立地区も含めた地区協議会間の連携強化に向けた体制づくりを推進します。

#### ・地域コミュニティ活動の場づくり

地域福祉センター及びふれあいの家の維持管理と計画的な改修工事を行うとともに、令和3年度に策定予定の（仮称）公共施設マネジメント計画において示す今後の方向性を踏まえ、個別施設に応じた維持保全計画を整理します。また、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策と併せて、コミュニティ活動が活発になるよう適切な施設運営に取り組みます。

#### ・市民活動支援センターの運営

市民活動支援センターについては、委託事業者である（社副）調布市社会福祉協議会と協働して、市民活動、地域活動を行うための拠点としての運営に努めます。

まち活フェスタ、えんがわフェスタ等のイベント開催については、市民参加・協働の着実な実践を積み重ねて市民と協働で実施します。開催そのものが最終目的となることなく、イベントが地域活動や市民活動を担う新たな人材の発掘と交流の場となり、地域の活性化につながる

ものとなるよう努めます。

#### ・参加と協働のまちづくりの実践

市民活動支援センターにおける課題の把握に努めるとともに、市民活動・地域コミュニティ活動の更なる活性化に向けた機能の発揮を目指し、センターと連携して支援方法を検討します。また、地域コミュニティサイト「ちょみっと」や地域活動情報紙「じょいなす」などにより、一人でも多くの方がコミュニティ活動に関心を持ち、気軽に活動に参加できるよう情報提供に努めます。

コミュニティ施設の在り方検討では、施設における運営上の課題を整理するとともに、ふれあいの家運営委員会の負担軽減のための具体的な支援策を取りまとめるほか、今後におけるコミュニティ運営の在り方や方向性並びに一層の利活用の促進について検討します。

### 男女共同参画推進課

#### ・男女共同参画推進プラン（第4次）改訂版に基づく取組の推進

調布市男女共同参画推進プラン（第4次）改訂版における施策の実施状況を把握し、着実な取組を推進します。

#### ・次期男女共同参画推進プランの策定

令和2年度に実施した市民や市内事業所への意識調査を基礎資料として、男女共同参画を取り巻く状況を踏まえ、令和4年度以降を計画期間とする次期男女共同参画推進プランの策定に取り組みます。

#### ・配偶者暴力及びデートDVの防止及び被害者支援

親密な関係にあるパートナーからの暴力を未然に防止するための啓発事業を、児童虐待防止のキャンペーンと連携を図るなどして組織横断的に行います。また、市立中学校の生徒を対象として、デートDV防止についての出前講座を実施します。

#### ・女性のための相談事業の実施

相談事業において、生き方、働く女性の人生、法律、健康、仕事についての来所相談及び電話相談を引き続き実施します。また、参加者が共通のテーマで話すことで悩みを解決する糸口を見つけるグループ相談（ほっとサロン・しゃいくはんず）を実施します。

#### ・啓発事業の実施と情報の発信

市民で組織する実行委員会と共催で男女共同参画推進フォーラムを実施し、市民交流を推進します。また、男女共同参画に向けた様々な講座・展示等により啓発を行うとともに、社会状況を捉えたテーマの講座、講演会等をそれぞれの対象に合わせた開催時間、場所、保育などに配慮して実施します。

#### ・女性活躍推進法への対応

女性活躍推進法に基づく協議会での議論を踏まえ、地域で働く女性を紹介する事業を引き続き実施します。また、庁内における審議会・委員会の女性参画率の向上、女性職員の昇任意欲の向上、ワークライフバランスの実現等に向けた取組を人事課と連携して推進します。

#### ・施設管理

開館から16年が経過した市民プラザあくろすの施設老朽化に迅速に対応するため、指定管理者と協力して安全・安心の施設運営に努めます。また、施設を活用した指定管理者による自主事業の実施促進を図るほか、活動団体による作品の展示、季節にちなんだ装飾等により、市民に親しまれる施設運営を指定管理者とともに推進します。

### 産業振興課

#### ・新型コロナウイルスの感染拡大防止と社会経済活動の回復の両立（事業者支援、消費喚起策）

新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けた中小企業・小規模事業者を対象とする相談窓口や、調布市中小企業事業資金融資あっせん制度の拡充を継続し、信用保証料の全額補助及び全額利子補給（当初3年間）を行うとともに、国のセーフティネット保証制度への適切な誘導



など、中小企業・小規模事業者を支援します。

また、昨年度に引き続き、市内中小企業等が実施する新型コロナウイルスの感染予防に係る工事や備品購入等の費用に対する助成事業（調布市商工会中小企業等新型コロナウイルス感染予防対策助成金）に取り組む調布市商工会を支援します。

新しい日常における市民生活の支援と地域経済の活性化を図るため、昨年度に引き続き、プレミアム付商品券事業を実施し、市内消費喚起を促進します。併せて、市内事業所のキャッシュレス決済の導入が十分に進んでいない現状も踏まえ、キャッシュレス決済の普及促進と市内消費喚起を目的とするキャッシュレス決済ポイント還元事業を実施します。

市の実情に即した施策の展開に向け、引き続き市内事業所の経営状況の把握に努めるとともに、地域経済対策会議の議論も踏まえながら、適時適切に対応します。

#### ・商業活性化に向けた商店会支援

商店会が実施するイベント事業を支援し、にぎわいの創出につなげるほか、商店街の施設整備や街路灯に係る電気料金に対する補助により、商店会活動費用の負担軽減を図ることで、商業の活性化につなげます。

#### ・映画のまち調布花火の開催

市内外から来場される多くの方の健康と安全を第一に考え、新型コロナウイルス感染症対策を適切に講じたうえで開催方法を多角的に研究・検討し、他自治体の動向も注視しながら、開催に向けて取り組みます。

#### ・「映画のまち調布」の推進

イオンシネマ シアタス調布を含む映画・映像関連企業や団体と連携しながら、「映画のまち調布 シネマフェスティバル」をはじめとする映画関連事業を実施し、「映画のまち調布」の推進につながる施策の更なる充実を図ります。

また、ロケツーリズムの推進に向け、昨年度に観光庁の補助金を活用して創出した新たなロケツーリズムコンテンツに磨きをかけるとともに、他自治体との広域的な連携の下、フィルムコミッション事業に積極的に取り組みます。

#### ・「水木マンガの生まれた街 調布」の取組推進

ゲゲゲ忌等の実施により、引き続き観光振興に努めるほか、水木しげる氏生誕100周年の節目を見据え、作品や著作などの御功績を後世に伝えつつ、まちづくりとの連動も視野に入れながら、「水木マンガの生まれた街 調布」の取組を推進します。

#### ・オリンピック・パラリンピック開催と連動した地域経済活性化

オリンピック・パラリンピックの開催を契機として、商工会、観光協会及び地元商店会など、多様な主体と連携した取組により、にぎわいの創出につなげるとともに、商業振興・活性化を図ります。

#### ・雇用・就労の支援

個々のライフステージに応じた切れ目ない雇用・就労を支援するため、調布国領しごと情報広場において、ハローワーク府中と連携した様々な求人情報の提供や職業相談、職業紹介、就労支援セミナーを実施するほか、地域活性化包括連携協定の活用や若者、高齢者、女性及び障害者の関係機関・関係部署と連携を図ります。

また、「ちょうふ若者サポートステーション」においても、関係機関・関連部署と連携を図り、仕事に対する不安や悩みを抱えている若者の職業的自立・就労を支援します。

#### ・市内事業所への経営支援・新たな創業への支援

市内の中小企業・小規模事業者の振興と地域経済の活性化を図るため、地域金融機関などの民間ノウハウを積極的に活用した経営相談や各種セミナーの開催、販路拡大のための見本市等の出展、事業承継について、商工会及び関係機関と連携して支援します。

また、中小企業事業資金融資あっせんについては、東京都と連携し、小口零細企業保証制度

の対象者に対する信用保証料の全額補助を継続し、中小事業者の負担軽減を図ります。

市内での新たな創業を促進し、地域経済の活性化につなげるため、産業労働支援センターでは、専門の相談員による創業相談や創業セミナー・講演会、女性及びシニア向けの創業相談会、スモールオフィスの貸出し、空き店舗等を活用した創業チャレンジ支援事業などを実施します。

また、地域資源を生かしながら、地域課題の解決を目指すコミュニティビジネスの育成・支援に、関係機関と連携して取り組みます。

## 農政課

### ・農業経営の支援

認定農業者などの農業経営に意欲ある農業者が農業を継続できるよう、引き続き、都市農業育成対策事業による支援に加え、都市農地保全支援プロジェクトによる農地の保全・活用の取組を通して農業経営を支援します。

### ・有機栽培の推進

有機質栽培や環境に配慮した農産物の生産を推進するため、有機質肥料の支給による有機栽培の促進などを通じて、農業者の取組を支援します。

### ・市内農産物の直売の促進

より多くの市民が市内で生産された安全・安心で新鮮な農産物を手に入れやすくするとともに、市内における消費の拡大を図るため、JAや地元商店街をはじめとする関係機関と連携し市内農産物の直売をより一層促進します。

### ・多様な農業体験の場づくり

市民が農家の指導を受けながら農作業を楽しむことができる体験ファームの支援や、農作業を通じて自然に親しみながら生産の喜びを味わうことができる市民農園の確保など、市民が農業とふれあえる機会づくりを推進します。

### ・都市農業を生かした食育の推進

農作物の生産から収穫までの過程や、農業の大切さを体感してもらう学童農園やふれあい体験農園の実施、調布産農産物を取り入れた学校給食の実施や消費者と生産者の交流を通じた食育の推進など、都市農業を生かした食育を推進します。

### ・都市農地保全支援プロジェクトの推進

都市農地保全を推進するために、防災や環境保全など農地の多面的機能を一層発揮させるための施設整備など、農地保全に意欲的に取り組む農業者及び農業団体が行う農地保全の取組に対して、ソフト・ハード両面から支援します。

### ・都市農地の保全と多面的活用

都市農地を保全していくため生産緑地地区の追加指定と併せて、特定生産緑地の指定に向けた取組を進めるとともに、農業経営の支援や市民農園・農業体験ファーム等に取り組むことにより、都市農地の保全・活用に努めます。

### ・里山の保全と活用

農地保全だけでなく、市内でも唯一里山として残されている地域について、自然環境の保全など総合的な観点から、市民との協働による保全・活用を図ります。

### ・農業振興計画の推進

令和2年度からスタートさせた農業振興計画について、多様な主体と連携しながら、都市農業の一層の推進と都市農地の保全・活用に向けた各取組を計画的に推進します。

### ・推進体制づくり

都市農業の振興を推進するため、農業者、JAをはじめとする農業関係機関・団体、農業委員会、市立小学校など、多様な主体と連携した推進体制づくりを進めます。

## スポーツ振興課

### ・スポーツ施設の整備

市民が安全・安心に施設を利用できるよう、バリアフリーに配慮し、利用者の声を生かした計画的なスポーツ施設の改修や維持保全を図ります。また、熱中症対策として、総合体育館及び大町スポーツ施設体育館の空調設備設置工事を実施します。

総合体育館は、公益社団法人調布市体育協会の指定管理期間第4期の3年目となります。指定管理期間が10年となったことから、これまで以上に市の施策との連動及び市との連携強化を図り、引き続き、適切な維持保全、安全な施設運営、魅力ある事業実施について指定管理者の指導監督に努めます。

### ・だれもがスポーツに参加できる機会の充実

より多くの市民が日頃からスポーツに触れ合う機会を提供できるよう、様々な主体と連携し、世代や能力に応じたスポーツを始めるためのきっかけづくりや、スポーツをする・みる・ささえるという観点から、スポーツ・レクリエーションに参加できる機会の充実を目指します。

### ・東京2020大会を契機としたスポーツ振興に向けた関連団体との連携

公益社団法人調布市体育協会、NPO法人調和SHC倶楽部、調布市スポーツ推進委員会及び公益社団法人東京都障害者スポーツ協会や東京都のほか、相互協力協定を締結した一般社団法人日本車いすバスケットボール連盟などの競技団体や福祉分野等スポーツ分野以外の関係団体と連携し、障害のある・なしにかかわらず、子どもから高齢者までだれもがスポーツに親しめるようスポーツの振興に取り組みます。

### ・東京2020大会開催に向けた情報共有の推進

東京都や組織委員会との連絡体制をより強化し、大会開催における施設の利用制限等の情報の共有を推進するとともに、施設利用者への情報提供の充実に努めます。

### ・FC東京等との連携の推進

市民のスポーツに親しむ機会の創出、青少年の健全育成、福祉や地域振興等のまちづくりを協働で推進するため、FC東京とのパートナーシップに基づく連携事業を様々な分野で一層の充実が図られるよう取り組みます。そのため、FC東京と庁内関係部署との情報交換会の定期的な開催や、庁内プロジェクト・チームのさらなる活用を図ります。

また、NTT東日本バドミントン部との共催事業の実施や、そのほか各種スポーツ団体やプロスポーツチーム等とも連携・協力して参ります。

## ◆主要な事務事業と到達目標

事業の名称と概要	年度末到達目標
<p><b>1 東京2020大会に向けた取組(オリンピック・パラリンピック担当)</b> <b>事業予算：8955万円 &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;</b></p> <p>延期となった東京2020大会において、大会期間中は市内団体・事業者や東京都と連携したコミュニティライブサイトを展開します。また、多摩地域市町村によるパラリンピック競技の広域連携事業や近隣3市によるラグビーフェスティバルの実施、パラリンピック競技団体と連携した取組など、大会後のレガシー創出を意識した各種取組を実施します。</p> <p>また、東京2020大会を契機として、調布のまちの更なる発展につなげていくため、大会後のレガシー創出を見据えながら、各種取組を実施します。</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>市民の安全安心を第一に大会本番に向けた準備を進めるとともに、大会後のレガシーを見据えた事業の継続性を検討します。</li></ul>

<p><b>2 聖火リレーに向けた取組（オリンピック・パラリンピック担当）</b>  <b>事業予算：2845万円</b> &lt;基本計画事業 行革P <b>その他</b>&gt;</p> <p>オリンピック・パラリンピックの聖火リレーが調布市内を通過します。このまたとない機会を多くの市民にお知らせするため、広く市全域に周知を行うとともに、市民ボランティアによる運営への参加や関連イベントへの市内団体・障害福祉団体の参加、子どもたちをはじめとした市民の観戦の機会の確保など、多くの市民・市内団体が参加したオール調布での聖火リレーを実施します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市内を走行する聖火リレーに多くの市民の方が参加できるように、東京都や組織委員会と連携しながら準備を進めます。</li> </ul>
<p><b>3 芸術・文化の振興（文化生涯学習課）</b>  <b>事業予算：14億9277万4000円</b> &lt;基本計画事業 行革P <b>その他</b>&gt;</p> <p>市民が芸術・文化と触れる機会の提供と自ら芸術・文化活動を行える環境を整備するため、音楽や演劇など様々な事業を実施します。</p> <p>安全に施設を利用していただくため、文化会館たづくり、グリーンホール及びせんがわ劇場の維持保全のための施設整備を行います。</p> <p>それぞれの館の特徴を生かした事業への取組と3館の連携による効果的な事業の推進を図るとともに、引き続き、適切な維持保全、安全な施設運営、魅力ある事業展開を図ります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施設維持保全工事等を計画的に実施します。</li> <li>・ グリーンホールについて、市民と情報共有を図りながら、利用者等の意見も踏まえ、広く意見を聴取し、整備に関する考え方を取りまとめます。</li> <li>・ パラアート展をはじめ、障害の有無や年齢にかかわらず、芸術・文化に触れることのできる機会を創出します。</li> </ul>
<p><b>4 平和・国際交流施策の推進（文化生涯学習課）</b>  <b>事業予算：2952万7000円</b> &lt;基本計画事業 行革P <b>その他</b>&gt;</p> <p>市民の代表ピースメッセンジャーとして、中学生を長崎へ派遣するとともに、日本非核宣言自治体協議会に加入し、長崎市との平和交流を推進します。また、原爆展の開催や市民団体等との連携により、市民に戦争の悲惨さや平和の尊さについて考える機会を提供します。</p> <p>国際交流の促進においては、世界の様々な文化や人々との相互の認識と理解を深め、共に暮らしていける地域社会づくりを促進するため、国際交流協会が行う交流事業をはじめ、東京2020大会においてホストタウンとなっているサウジアラビアとの交流を促進します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民団体や市内の映像制作事業者等と連携し、幅広く市民が平和について考える機会を提供します。</li> <li>・ 国際交流協会と連携し、外国人専門家相談会を実施します。</li> </ul>
<p><b>5 消費生活の安定と向上（文化生涯学習課）</b>  <b>事業予算：1425万7000円</b> &lt;基本計画事業 行革P <b>その他</b>&gt;</p> <p>市民が安心して消費生活が送れるよう、消費者トラブルの情報提供や、消費生活相談員を配置し消費者トラブルの解決の支援を行います。</p> <p>複雑かつ多様化する消費者被害を防ぐためには、消費者への啓発が重要であることから、様々な媒体を利用して消費生活センターのPRを図るとともに、架空請求や振り込め詐欺などの悪質商法等に対して、タイムリーな情報提供と注意喚起を行い、消費者被害の防止につなげます。</p> <p>また、消費者教育推進法に基づき、各種消費者講座の開催をはじめ、教育機関や地域で開催する会合等に出向くなど積極的な出前講座、出前授業を実施します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 着ぐるみの調布市消費者啓発用キャラクター「チー坊」を活用し、消費者トラブルの注意喚起を行います。</li> <li>・ 各年代に応じた消費生活教育教材と資料等を作成し、対象者へ提供します。</li> <li>・ 消費生活相談員によるアウトリーチ事業（出前講座、出前授業）を積極的に実施します。</li> </ul>

<p><b>6 学習活動及びまちづくりへの参加の促進（文化生涯学習課）</b>  <b>事業予算：40万円</b> &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;</p> <p>市民一人一人の知識や経験を生かし、地域で活躍してもらえよう、市民団体や大学、民間事業者等との連携により、各種地域デビュー事業やサークル体験事業のほか、様々な生涯学習講座を実施し、各種活動への参加のきっかけづくりを行います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域デビュー事業の更なる内容の充実及びサークル活動支援との更なる連携を図ります。</li> </ul>
<p><b>7 地区協議会の設立と支援（協働推進課）</b>  <b>事業予算：887万1000円</b> &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;</p> <p>地区協議会は、地域コミュニティの活性化を図り、地域の連帯感を高めるとともに、地域住民と調布市が地域の課題を共に考え解決していくために、地域住民が自主的に運営するネットワーク組織です。</p> <p>小学校区域をコミュニティエリアとして、令和2年度末で17の地区協議会が設立され、様々なまちづくり活動を展開しています。</p> <p>今後は、未設立の残り3つの小学校区域に地区協議会の設立を働きかけ、さらには既設地区への支援を引き続き行います。</p> <p>その他、地区協議会相互の連携体制を構築するとともに、地区協議会同士の交流及び未設立区域での設立促進等を目的とした地域勉強会を開催します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 残りの未設立3地区（第二、深大寺、柏野）に対して地区協議会設立の機運が高まるよう更なる関係性の強化を図ります。</li> <li>・ 設立している地区協議会に対して、地域課題解決に向けたサポートを行うほか、積極的な活動のPRなど、支援を行います。</li> <li>・ 地区協議会連絡会を通じて地区協議会相互の連携強化や、緊急時の情報共有体制構築を目指します。</li> </ul>
<p><b>8 ちょうふ地域コミュニティサイト（ちょみっと）の活用（協働推進課）</b>  <b>事業予算：938万円</b> &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;</p> <p>ちょうふ地域コミュニティサイト（ちょみっと）は、「生涯学習情報がす見つかるシステム」を多様化する市民活動やライフスタイルに合わせ、より分かりやすく・より直感的に・そしてより多くの方に活用していただけるよう平成28年度に再構築し、平成29年4月に公開しました。</p> <p>生涯学習情報コーナーウェブサイト、市民活動支援センターホームページなど、点在していたイベント情報や団体情報を一括で検索するポータルサイトであり、「目的からさがす」や「地図からさがす」といった検索方法を備えることにより、より分かりやすい地域密着型の情報発信及び情報共有の中心的なサイトを目指し、運用しています。</p> <p>また、電子掲示板機能である「ちいきのけいじばん」は20小学校区ごとに設置し、簡単に投稿できる仕組みとなっています。</p> <p>ちょうふ地域コミュニティサイト（ちょみっと）の内容充実と活用促進を図るため、引き続き、トップページ機能の見直し・追加やサイトのPR・広報、地域情報発掘によるコンテンツ充実などに取り組みます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ システム運営会議や連携会議を継続的に開催し、情報の共有・課題解決など検討を重ねていきます。</li> <li>・ 連携するホームページは令和3年4月1日時点で7団体。  生涯学習情報コーナー  市民活動支援センター  男女共同参画推進センター  福祉人材育成センター  文化協会  観光協会  文化・コミュニティ振興財団</li> </ul>
<p><b>9 地域福祉センターの整備（協働推進課）</b>  <b>事業予算：1億5378万6000円</b> &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;</p> <p>下石原地域福祉センター及び深大寺地域福祉センターでは、維持保全計画を基本として、屋上・外壁・内装・給排水・空調等の大規模な改修工事を実施するほか、トイレの洋式化など機能の向上を図ります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利用者の安全・快適性を第一に考えた改修工事を滞りなく実施し、施設機能の回復・向上を図ります。</li> </ul>

<p><b>10 女性のための相談事業（男女共同参画推進課）</b></p> <p><b>事業予算：510万6000円</b> &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;</p> <p>相談事業において、生き方、働く女性の人生、法律、健康、仕事についての一時的保育付の来所相談及び電話相談事業を引き続き実施します。</p> <p>また、参加者が共通のテーマで話すことで悩みを解決する糸口を見つけるグループ相談（ほっとサロン・しえいくはんず）を実施します。</p> <p>さらに、相談事業とリンクした講座を開催するなど、利用者ニーズに沿った事業を展開します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 来所相談・電話相談の実施</li> <li>・ グループ相談の実施</li> <li>・ 相談事業と連携した講座等の実施</li> </ul>
<p><b>11 次期男女共同参画推進プランの策定（男女共同参画推進課）</b></p> <p><b>事業予算：423万1000円</b> &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;</p> <p>昨年度実施した市民や市内事業所への意識調査を基礎資料として、令和4年度以降を計画期間とする次期男女共同参画推進プランを策定します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次期男女共同参画推進プランの策定</li> </ul>
<p><b>12 中小企業・小規模事業者の支援（産業振興課）</b></p> <p><b>事業予算：1億1221万2000円</b> &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;</p> <p>地域経済の活性化を図るため、中小企業事業資金融資あっせん制度を利用する市内の中小企業・小規模事業者や開業しようとする方に対して、事業者負担（信用保証料及び利子）を軽減します（令和2年度拡充内容の継続）。さらに、事業者が抱える課題解決に向け、包括協定を結んでいる金融機関と連携し、きめ細かな支援に取り組みます。</p> <p>また、事業者への経営サポートとして、事業所訪問のほか、創業支援や経営課題に関するセミナー等を開催し、支援します。</p> <p>加えて、昨年度に引き続き、市内中小企業等が実施する新型コロナウイルスの感染予防に係る工事や備品購入等の費用に対する助成事業（調布市商工会中小企業等新型コロナウイルス感染予防対策助成金）に取り組む調布市商工会を支援することで、新型コロナウイルスの感染拡大防止と社会経済活動の回復の両立を図ります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 引き続き、少しでも多くの事業者が創意工夫により、事業継続が可能となるよう支援し、社会経済活動の回復を目指します。</li> </ul>
<p><b>13 商店街活性化の推進（産業振興課）</b></p> <p><b>事業予算：2840万3000円</b> &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;</p> <p>商工会、市内事業者、商店会等と連携した地域経済活性化に資する取組を展開します。</p> <p>商店会のイベント事業を支援することで、商店会や個店の魅力向上を図り、にぎわいの創出につなげます。</p> <p>また、商店街の施設整備を支援するため、街路灯のLED化や老朽化した街路灯の維持・撤去費用等の一部を助成するほか、街路灯に係る電気料金の負担軽減を行います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた地域経済の状況が少しでも好転するよう、商工会、市内事業者、商店会等と連携し、地域経済活性化に向けた取組を推進します。</li> <li>・ 商店会が実施するイベント事業を支援し、商業活性化を推進します。</li> <li>・ 商店街の街路灯のLED化の支援や電気料金の負担軽減を実施し、商店街の環境整備を促進します。</li> </ul>
<p><b>14 キャッシュレス決済ポイント還元・プレミアム付商品券事業の実施（産業振興課）</b></p> <p><b>事業予算：12億8656万円</b> &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;</p> <p>新しい日常における市民生活の支援と地域経済の活性化を図るため、</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 昨年度に引き続き、継続的にプ</li> </ul>

<p>昨年度に引き続き、プレミアム付商品券事業を実施します。</p> <p>また、市内事業所のキャッシュレス決済の導入が十分に進んでいない現状を受け、キャッシュレス決済の普及促進を図るため、キャッシュレス決済ポイント還元事業を実施し、市内消費喚起を促進します。</p>	<p>プレミアム付商品券事業を実施することにより、市民生活支援と地域経済活性化につなげます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ キャッシュレス決済還元事業を契機として、キャッシュレス決済導入事業所数の増加につなげます。</li> </ul>
<p><b>15 映画のまち調布花火の開催（産業振興課）</b></p> <p><b>事業予算：2484万円 &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;</b></p> <p>市内外から来場される多くの方の健康と安全を第一に考え、新型コロナウイルス感染症対策を適切に講じたうえでの開催方法を多角的に研究・検討し、他自治体の動向も注視しながら、開催に向けて取り組みます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 調布花火の開催により、大型イベント実施時の新型コロナウイルス感染症対策の考案と調布のまちのPRを行います。</li> </ul>
<p><b>16 調布市観光協会事業の促進（産業振興課）</b></p> <p><b>事業予算：2354万4000円 &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;</b></p> <p>ホームページ、フェイスブック、ツイッター等を活用した調布市の魅力の情報発信とともに、古刹・深大寺をはじめとする観光事業や「水木マンガの生まれた街 調布」の取組、「映画のまち調布」の推進、観光ボランティアガイドの支援など、にぎわいの創出につながる調布ならではの特色あるイベント展開等を支援します。</p> <p>また、多言語版の散策マップの改訂や調布駅周辺を中心とした飲食店等の公衆無線LAN整備の実施により、外国人旅行者等に調布の魅力・情報をより広く発信する取組を支援します。</p> <p>加えて、東京2020大会に向けたサマーフェスティバルの開催や、大会期間中に合わせた市内特産品・飲食物等の出店など、にぎわいの創出につながる取組を支援します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 観光協会をはじめとする様々な企業・団体、庁内各部署と連携し、にぎわいの創出に向けた効果的な観光振興を推進することにより、地域経済の活性化を図ります。</li> <li>・ 引き続き、観光協会と連携して「ゲゲゲ忌」を実施するとともに、水木しげるの氏生誕100周年の節目を見据えた取組を推進します。</li> </ul>
<p><b>17 「映画のまち調布」の推進（産業振興課）</b></p> <p><b>事業予算：1365万2000円 &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;</b></p> <p>映画・映像を「つくる」、「楽しむ」、「学ぶ」をテーマに、積極的なロケ支援や市民・団体等が実施する映画イベントの支援・協力、「高校生フィルムコンテスト」等の世代に合わせた調布市独自の事業を展開します。</p> <p>また、イオンシネマシアタス調布のプレアド（映画上映前の広告）を活用したPR、「映画のまち調布」応援キャラクター「ガチョラ」の活用、「映画のまち調布シネマフェスティバル」における撮影体験ワークショップなど、「映画のまち調布」ならではの取組を展開します。</p> <p>さらに、ロケツーリズムの推進に向け、昨年度に観光庁の補助金を活用して創出した新たなロケツーリズムコンテンツに磨きをかけるとともに、他自治体との広域的な連携の下、フィルムコミッション事業に積極的に取り組みます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広く市民に“映画”に親しんでもらう機会を創出するとともに、「映画のまち調布」としての魅力の更なる向上を目指します。</li> </ul>
<p><b>18 いきいきとした農業経営（農政課）</b></p> <p><b>事業予算：1400万円 &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;</b></p> <p>認定農業者などの農業経営に意欲ある農業者が農業を継続できるよう、引き続き、都市農業育成対策事業による支援に加え、都市農地保全支援プロジェクトによる農地の保全・活用の取組を通して農業経営を支</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和2年度からスタートさせた農業振興計画の円滑な推進に努めます。</li> </ul>

<p>援します。</p> <p>市民ニーズの高い安全・安心な農産物の品質向上と供給を図るため、有機質肥料の支給による有機栽培の促進などを通じて、農業者の取組を支援します。</p> <p>また、援農ボランティアの斡旋事業について、検討を進めます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「都市農地保全支援プロジェクト」を活用し、農地の保全・活用の取組を通して農業経営を支援します。</li> <li>・ 「都市農業育成対策事業」を活用した農業支援を実施します。</li> <li>・ 有機質肥料を支給し、有機栽培の促進を図ります。</li> <li>・ 援農ボランティアの斡旋事業をスタートさせます。</li> </ul>
<p><b>19 農のある地域づくり（農政課）</b></p> <p><b>事業予算：1285万円</b> &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;</p> <p>より多くの市民が市内で生産された新鮮で安全・安心な農産物を手に入りやすくするとともに、令和2年度にリニューアルした農産物直売所マップを活用し、市内における消費の拡大を図るほか、JA・地元商店街をはじめとする関係機関と連携し市内農産物の直売をより一層推進します。</p> <p>また、市民が農家の指導を受けながら農作業を楽しむことができる体験ファームの支援や、農作業を通じて自然に親しみながら生産の喜びを味わうことができる市民農園の確保など、市民が農業とふれあえる機会作りを推進します。</p> <p>さらに、農作物の生産から収穫までの過程や、農業の大切さを体感してもらう学童農園について、布田小学校・多摩川小学校地域にて継続して実施するとともに、新たに上ノ原小学校地域にて学童農園を開設するほか、ふれあい体験農園の実施、調布産農産物を取り入れた学校給食の実施や消費者と生産者の交流を通じた食育の推進など、都市農業を生かした食育を推進します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農業体験ファーム及び市民農園の確保に努めます。</li> <li>・ 関係機関と連携し、市内農産物の直売を促進します。</li> <li>・ 都市農業を生かした食育を推進します。</li> <li>・ 市民ふれあい体験農園や学童農園を実施し、都市農業への理解促進を図ります。</li> <li>・ 上ノ原小学校地域において、新たに学童農園を開設します。</li> </ul>
<p><b>20 農地の保全・活用（農政課）</b></p> <p><b>事業予算：1341万6000円</b> &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;</p> <p>都市農地保全を推進するために、防災や環境保全など農地の多面的機能を一層発揮させるための施設整備など、農地保全に意欲的に取り組む農業者及び農業団体の取組に対して、ソフト・ハード両面から支援します。</p> <p>また、都市農地を保全していくため、JAと連携し、都市農地の貸借の円滑化に関する法律の活用を促進するほか、生産緑地地区の追加指定と併せて、特定生産緑地の指定に向けた取組を進めるとともに、農業経営の支援や市民農園・農業体験ファーム等に取り組むことにより、都市農地の保全・活用に努めます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特定生産緑地の指定に向けた取組を進めます。</li> <li>・ 「都市農地保全支援プロジェクト」を活用し、農地の保全・活用の取組を通して農業経営を支援します。</li> </ul>
<p><b>21 スポーツ施設の整備（スポーツ振興課）</b></p> <p><b>事業予算：1億6842万9000円</b> &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;</p> <p>市内の各スポーツ施設において、市民が安全で快適に利用できるよう、スポーツ施設の維持保全に取り組むとともに、令和2年度から引き続き、総合体育館の特定天井及び床改修、空調整備工事等を進めます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 総合体育館空調設備設置工事</li> <li>・ 総合体育館の特定天井及び床等改修工事</li> <li>・ 大町スポーツ施設体育館空調設備設置工事（令和2年度予算）</li> </ul>



	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大町スポーツ施設大運動場防球ネット増設工事（令和２年度予算）</li> <li>・ 施設の老朽化に伴う修繕等</li> </ul>
<p><b>22 東京2020大会等を契機としたスポーツ振興による多目的効果の創出（スポーツ振興課）</b></p> <p><b>事業予算：510万円 &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;</b></p> <p>東京2020大会開催を契機とし、東京都や競技団体、近隣市や体育協会等の関係団体との連携を更に強化し、市民がスポーツに親しめる機会の創出を図ります。</p> <p>また、障害者スポーツ情報の積極的な広報活動や各種障害者スポーツ体験事業等の開催や福祉・スポーツ分野の関係者による協議体を活用した事業の実施など、大会開催後のレガシー創出を見据えた障害者スポーツの普及に取り組みます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障害者スポーツ体験会、小学生タグラグビー大会、ジュニア陸上体験教室、N T T東日本バドミントン部地域感謝祭等の事業を、関係団体や競技団体と連携して実施します。</li> <li>・ 市内で開催される競技を中心とした競技団体との連携を積極的に図ります。</li> <li>・ 調布市障害者スポーツの振興における協議体を活用し、誰もがスポーツに親しむ機会の創出を図ります。</li> </ul>
<p><b>23 FC東京等と連携したスポーツ振興等の推進（スポーツ振興課）</b></p> <p><b>事業予算：150万円 &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;</b></p> <p>FC東京が行うサッカー教室等の地域貢献活動に対して経費の一部を補助するなどその活動を支援し、市のスポーツ振興、青少年の健全育成、福祉、地域振興等のまちづくりを協働で推進します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子どもサッカー体験教室等FC東京の地域貢献活動を支援します。</li> <li>・ FC東京との連携事業の更なる充実を図ります。</li> <li>・ 市内スポーツ団体との連携を図ります。</li> </ul>

◆生活文化スポーツ部経営の前年度（令和２年度）振り返り

<p><b>・東京2020大会の開催延期に伴う対応と大会本番に向けた取組</b></p> <p>東京2020大会の開催延期に伴い、令和元年度末に予定していた調布駅前広場や市庁舎のシティドレッシングは延期しました。また、カウントダウンイベントをはじめ、大会に向けたボランティアや市民向けの説明会など、大会前に行うことを予定していたほぼ全ての事業が延期となりました。</p> <p>大会延期後、競技日程や聖火リレーの詳細などが示されたことにより、大会本番に向けて準備を進め、特にコロナ禍における大会関連事業の運営等の方法については、市民の安全安心を第一に検討を進めました。また、延期前からの方針である「オール調布」での取組を推進するため、おもてなしボランティアや聖火リレーサポーターの募集を実施したほか、東京都と連携した市立小・中学校の全児童・生徒の学校観戦や市民観戦事業の実施など市民の参加機会の創出を図るための検討をしました。</p> <p>レガシーを見据えた取組としては、令和元年度よりパラリンピックレガシーを見据えた多摩26市3町の連携事業である「東京都市町村ボッチャ大会」の開催を行っており、令和２年度はコロナの影響で大会自体は実施できませんでしたが、各市でボッチャ関連用品等を購入すると同時に、令和３年度以降も継続可能なスキームを各市と連携しながら構築しました。</p> <p>平成29年度から継続実施している「パラアート展」は、新型コロナウイルスの影響により中止となりまし</p>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

たが、市庁舎で行ったオリンピック・パラリンピックに関する啓発展示や文化・コミュニティ振興財団による文化施設でのアート展示の中で、パラアート展過去出展作品の展示を行いました。

ホストタウンとしてのサウジアラビア王国との連携については、「国際交流平和都市宣言30周年」の取組の一環として、宣言のアラビア語翻訳を行うとともに、世界各国の人々がアラビア語を含む4か国語で宣言文を読み上げる啓発映像の制作を行いました。また、日本郵便株式会社と連携し、サウジアラビア王国のオリジナルホストタウンフレーム切手を作成しました。

そのほか、文化協会をはじめとする市民団体や文化・コミュニティ振興財団など多様な主体との連携により、芸術文化への市民の関心や活動の拡大、次世代のアーティストの育成、伝統文化の再認識と継承等につながるよう、各種事業を展開しました。

#### ● 芸術・文化の振興

市民が芸術・文化と触れる機会の提供と自ら芸術・文化活動を行える環境を整備するため、音楽や演劇など様々な事業を実施するとともに、安全に施設を利用いただくための施設整備を行いました。

文化会館たづくり、グリーンホール及びせんがわ劇場は、指定管理者である（公財）調布市文化・コミュニティ振興財団による管理・運営を行っていることから、3館の連携による効果的な事業の推進を図るとともに、引き続き、適切な維持保全、安全な施設運営、魅力ある事業展開などの視点から、施設管理及び事業運営を行いました。

グリーンホールについては、ホール整備及び運営に関する専門的知見を有するコンサルタントからの支援を受け、ホール機能及び規模の検討を行うとともに、これまでの施設利用団体との意見交換等を踏まえ、グリーンホールに関する検討会設置に向けて、構成メンバーや検討内容等について検討を行いました。

#### ● 平和祈念の取組

新型コロナウイルスの影響により令和2年度の中学生平和派遣は中止としましたが、令和元年度に派遣したピースメッセンジャーの制作物を活用し、市内公共施設での平和派遣事業に関する巡回展示や、市民団体と共催した平和事業におけるピースメッセンジャーの報告会映像の上映など、ピースメッセンジャーの学びや平和への想いを広く市民に伝える取組を継続して実施しました。

また、「調布市国際交流平和都市宣言30周年記念事業」として、「調布っ子“平和なまち”絵画コンテスト」を実施し、受賞作品を活用し、宣言の啓発グッズ（クリアファイル・卓上カレンダー）を作成したほか、4か国語に翻訳した国際交流平和都市宣言を様々な国の方々が朗読するPR映像の制作などを実施しました。

#### ● 姉妹都市木島平村との交流

令和2年度は、長野県木島平村との姉妹都市盟約35周年として、市内に所在する協定締結大学等の学生寮を通じて木島平村の米を提供する「調布市内の大学生 お米で応援プロジェクト」や、市民向けの木島平村特産品セットの特別販売など、コロナ禍にあっても、より多くの市民に木島平村の特色や魅力を知っていただき、更なる交流の発展につながるような取組を展開しました。

#### ● 地区協議会の設立と支援

市内小学校における避難所開設訓練実施の機会を捉え、地区協議会未設立地区を含む全地区向けの報告会において未設立地区への声かけを行うなど、情報提供を積極的に行いました。また、既存の地区協議会において、令和元年台風第19号後の意見を踏まえ、市との情報共有、地域での情報共有が促進されるよう緊急時の情報共有体制の整備を行いました。

#### ● ちょうふ地域コミュニティサイト（ちょみっと）の活用

平成29年4月に、生涯学習情報（団体、人材、イベント、施設）を提供するシステム「さがす見つかるシステム」から、市民活動に役立つ情報発信につながるよう更なる利便性の向上を図るため、「ちょうふ地域コ

コミュニティサイト（ちょみっと）」としてリニューアルし、4年目の運用となりました。防災情報まとめページや地区協議会紹介ページの作成、地域活動情報紙「じょいなす」との連携などにより、情報の充実を図りました。

#### • ふれあいの家の整備

ふれあいの家運営委員会の負担の軽減を図るため、国領駅北ふれあいの家において鍵の受け渡しを不要とする電子錠を試験的に導入しました。また、施設の機能向上を目的とした改修工事を2施設で実施したほか、下布田ふれあいの家のトイレの洋式化修繕を行った結果、全てのふれあいの家におけるトイレの洋式化が完了しました。

#### • 地域福祉センターの整備

公共建築物維持保全計画を基本として、バリアフリー化を含めた大規模改修工事を入間地域福祉センターで実施するとともに、染地地域福祉センターにおいて手摺りの設置、段差解消に向けた改修を実施し、施設の機能向上を図りました。

また、次年度の施設改修を見据え下石原地域福祉センターの設計委託を行いました。

#### • 女性のための相談事業

生き方、働く女性の人生、法律、健康、仕事についての来所相談及び電話相談事業を実施しました。また、参加者が共通のテーマで話すことで悩みを解決する糸口を見つけるグループ相談（ほっとサロン・しゃいくはんず）を実施しました。このほか、公共施設のトイレ等に相談の案内を記載したカードを配架し、相談事業の周知に努めました。

#### • 商店街活性化の推進

商店会支援については、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、商店会が実施するイベント事業の中止（予定：18商店会26事業、実績：6商店会6事業）が相次ぎましたが、実施可能な事業を積極的に支援し、地域経済の回復に少しでもつながるよう取り組みました。

また、商店会支援の一環として、商店街の街路灯に係る電気料金の補助について、補助率を上乗せし、全額補助とすることで、負担軽減を図りました。

#### • 魅力ある観光の振興

新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、観光振興施策の推進が困難な状況でしたが、市及び観光協会とともに、多くの事業を中止せざるを得ない中でも、感染防止対策を徹底しながら、実施できた事業があったことは、今後に向けて大きな収穫となりました。

「水木マンガの生まれた街 調布」の推進については、名誉市民水木しげるさんの御功績を称え、広く市民と偲ぶ取組である「ゲゲゲ忌」を、水木プロダクションや東映アニメーション等と連携して開催しました。会場である調布駅前広場をイベントエリアで分割し、各エリア入口での検温・手指消毒、人数把握の徹底など、感染防止対策を徹底して実施しました。

「映画のまち調布」の推進では、観光庁の補助金を活用し、調布市を舞台に撮影された「花束みたいな恋をした」やこれまでのドラマ等の撮影実績を生かした新たなロケツーリズムコンテンツの制作に取り組んだほか、他自治体と連携したフィルムコミッション事業によるロケツーリズムの推進に取り組みました。

また、昭和48年から調布市に拠点を移し、活動を続けてきた石原プロモーションが令和3年1月16日に解散したことを受けて、感謝の思いを込め、石原プロモーション制作のドラマや映画・音楽に関連した展示、グッズの販売等を行いました。

#### ● **スーパープレミアム付商品券事業**

商工会等と連携し、市内全事業所（要事前登録）で利用可能な商品券（購入額に対し、30%のプレミアムを付加）を発行することにより、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた、市民生活への支援と併せ、市内消費喚起による事業者の支援及び地域経済の回復・活性化へつなげる取組を実施しました。

#### ● **中小企業・小規模事業者の支援**

新型コロナウイルスの感染拡大により、経営に影響を受ける市内事業者の方を対象に、新型コロナウイルス感染症に係る相談窓口を開設したほか、緊急措置として、調布市中小企業事業資金融資あっせん条例を改正し、借入れ口数の増加や信用保証料の全額補助及び全額利子補給（当初3年間）など、中小企業事業資金融資あっせん制度の拡充を実施しました。

社会経済活動の再開・回復に向けた施策の検討のため、市内事業者、金融機関等をメンバーとする地域経済対策会議を設置し、新型コロナウイルスの感染拡大による影響等について、当事者目線での市内事業者の現状と行政（国・都・市）が実施している支援策を相互で情報共有するとともに、市内事業者向けの市独自の支援策の議論を行いました。

また、市内事業所の経営状況や経営環境などについて調査し、経営実態や特性を把握することを目的として、事業所経営実態調査を実施しました。

地域経済対策会議における議論の結果は、令和2年度の補正予算編成につなげたほか、令和3年度の予算編成については、事業所経営実態調査の結果を基に、地域経済対策会議のメンバーの意見を聴取し、市の実情に即した内容となるよう努めました。

#### ● **産業労働支援センターによる創業の支援**

市内での創業を促す取組として、相談会・創活塾（創業塾）等セミナーの充実を図りました。

創業しようとする方、創業して間もない方で、空き店舗等を賃借して開業しようとする方に対し、その空き店舗等の賃借料の一部を補助する創業チャレンジ支援事業に取り組み、創業者の支援に努めました。

#### ● **いきいきとした農業経営**

認定農業者と農業経営に意欲ある農業者に、農業用資材の購入、農業用機械設置等を補助する都市農業育成対策事業を通じて、農業が安定的に継続できるよう支援したほか、有機栽培の推進などの取組を支援しました。

#### ● **スポーツ施設の整備**

市内の各スポーツ施設について、公共建築物維持保全計画を踏まえ市民が安全で快適に利用できるよう、夏季期間に総合体育館空調設備の借上げを行ったほか、総合体育館及び西調布体育館の空調設備設置工事、総合体育館の特定天井及び床等改修工事、調布基地跡地運動広場グラウンド整備工事、大町スポーツ施設小運動場人工芝改修工事を実施し、施設の整備・維持管理に取り組みました。

また、今後の市民多摩川テニスコート施設整備に向けた隣接地の用地を取得しました。

なお、総合体育館の空調設備設置工事、特定天井及び床等改修工事については、令和2年度から3年度にかけて実施しています。

#### ● **東京2020大会等を契機としたスポーツ振興による多面的効果の創出**

新型コロナウイルスの感染拡大の影響により中止せざるを得ない事業もある中で、感染症予防対策を講じたうえで中学生走り方教室、自宅のできる「簡単」エクササイズ、NTT東日本バドミントン部連携事業（動画配信）などを調布市体育協会やFC東京などの関係団体と連携して実施し、東京2020大会を契機とした市民スポーツの振興を図りました。

また、障害福祉課や東京都、東京都障害者スポーツ協会と連携し、スポーツ分野と福祉分野の関係団体が

一同に会し、障害者スポーツを振興するうえでの課題の抽出や解決方法を検討する場として設置した「調布市障害者スポーツの振興における協議体」では、東京都のモデル事業として、東京都からの負担金を活用した講演会や市内福祉作業所への出張事業などを実施し、障害者スポーツの振興を図りました。

● **FC東京等と連携したスポーツ振興等の推進**

市民がスポーツに親しむ機会を創出するため、「調布市FC東京と連携したまちづくり等の推進に関するプロジェクト・チーム」の活用や、FC東京と庁内関係部署との情報交換会を開催し、FC東京とのパートナーシップに基づく連携事業をスポーツ分野のみならず、青少年の健全育成、福祉地域振興等の様々な分野で実施したほか、FC東京がJリーグYBCルヴァンカップファイナルへ進出したことに伴い、対戦相手のホームタウンである柏市や、FC東京ホームタウンである府中市・三鷹市と連携した応援企画を実施したことで、市内のみならず、連携市全てにおけるスポーツ機運の醸成を図りました。

◆ **前年度の主要な事務事業の取組状況等**

事業の名称と取組内容	達成状況・課題等
<p><b>1 東京2020大会に向けた取組（オリンピック・パラリンピック担当）</b>  <b>決算見込額：1395万5000円 &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;</b>            大会が延期されたことにより、当初予定していたものを実施することはできず、機運醸成のためのグッズの準備や、コミュニティライブサイトの事前準備など、令和3年度の大会本番に向けた準備を行いました。            大会以外では、パラリンピックレガシーを見据えた事業である、多摩26市3町のポッチャ連携事業を可能な形で継続したほか、サウジアラビア王国のホスタウンフレーム切手を作成しました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 多摩26市3町でのポッチャ事業の実施</li> <li>・ ホスタウンフレーム切手の作成</li> </ul>
<p><b>2 聖火リレーに向けた取組（オリンピック・パラリンピック担当）</b>  <b>決算見込額：55万円 &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;</b>            大会の延期と同時に、聖火リレーも延期されたため、事前準備のみ行いました。</p>	
<p><b>3 芸術・文化の振興（文化生涯学習課）</b>  <b>決算見込額：13億1515万2000円 &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;</b>            市民が芸術・文化と触れる機会の提供と自ら芸術・文化活動を行える環境を整備するため、音楽や演劇など様々な事業を実施するとともに、安全に施設を利用していただくため施設整備を行いました。            文化会館たづくり、グリーンホール及びせんがわ劇場は、指定管理者である（公財）調布市文化・コミュニティ振興財団による管理・運営を行っていることから、3館の連携による効果的な事業の推進、魅力ある事業展開を図りました。            グリーンホールについては、ホール整備及び運営に関する専門的知見を有するコンサルタントからの支援を受け、ホール機能の検討を行いました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施設維持保全工事等を計画的に実施しました。</li> <li>・ 調布国際音楽祭、調布市民文化祭、映画のまち調布 シネマフェスティバル等において、オンライン配信を実施しました。</li> </ul>
<p><b>4 平和・国際交流施策の推進（文化生涯学習課）</b>  <b>決算見込額：2331万円9000円 &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;</b>            新型コロナウイルス感染症の影響により中学生平和派遣は中止となりましたが、令和元年度に派遣したピースメッセンジャーの制作物を活用し、市内公共施設での平和派遣事業に関する巡回展示や、市民団体と共催した平和事業におけるピースメッセンジャーの報告会映像の上</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 原爆展 来場者477人</li> <li>・ 調布市平和映画・朗読会 来場者 79人</li> <li>・ 「調布平和の祭典」につなぐ催し</li> </ul>

<p>映など、ピースメッセンジャーの学びや平和への想いを広く市民に伝える取組を継続して実施しました。</p> <p>また、「調布市国際交流平和都市宣言30周年記念事業」として、「調布っ子“平和なまち”絵画コンテスト」及び受賞作品を活用した宣言啓発グッズの作成のほか、国際交流協会及びサウジアラビア大使館文化部との連携の下、4か国語に翻訳した国際交流平和都市宣言を様々な国の方々が朗読するPR映像の制作などを実施しました。</p> <p>東京2020大会においてホストタウンとなっているサウジアラビアとの交流事業としては、市とサウジアラビアとの交流の歴史やサウジアラビア文化の紹介を掲載したPR冊子を制作しました。</p>	<p>参加者 68人</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調布っ子“平和なまち”絵画コンテスト 応募数 94作品 絵画展来場者数167人</li> </ul>
<p><b>5 消費生活の安定と向上（文化生涯学習課）</b></p> <p><b>決算見込額：1308万9000円 &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;</b></p> <p>市民が安心して消費生活が送れるよう、調布市消費生活センター条例に基づき消費者トラブルの情報提供や、消費生活相談員を配置し消費者トラブルの解決に向けた支援をしました。</p> <p>また、より多くの潜在的被害者を救済するため、関係部署と連携を図りながら、消費生活センターの周知を行いました。</p> <p>さらに、消費者教育推進法に基づき、各年代に応じた各種消費者講座を実施しました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域団体等からの要望に合わせ、講座内容や実施形態について柔軟に対応し、消費者講座、出前講座を実施しました。</li> <li>・消費者講座 4回 受講者数計43人</li> <li>・出前講座 6回 参加者数計74人</li> </ul>
<p><b>6 学習活動及びまちづくりへの参加の促進（文化生涯学習課）</b></p> <p><b>決算見込額：25万1000円 &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;</b></p> <p>地域デビュー事業では、新型コロナウイルス感染症の影響により、地域デビュー歓迎会やセカンドライフ応援講座など大半の事業が中止となりましたが、地域デビュー推進委員会と連携し、例年バスを使って実施している市内の再発見ツアーについて、令和2年度は徒歩のみとするなど感染防止対策を講じたうえで、開催することができました。</p> <p>また、地域デビュー推進委員と連携し、地域活動へ参加したい方へのサークル体験を通したきっかけづくりの相談を行うとともに、サークルにとっては新規会員募集の場となる「サークル体験 in みんなの広場」を実施し、コロナ禍の影響により体験が実施できなかったサークルについては活動の様子や作品を展示しました。</p>	<p><b>【参加者数】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調布再発見学習会&amp;徒歩ツアー 59人</li> <li>・サークル体験 in みんなの広場 30人</li> </ul>
<p><b>7 地区協議会の設立と支援（協働推進課）</b></p> <p><b>決算見込額：829万1000円 &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;</b></p> <p>地区協議会は、地域コミュニティの活性化を図り、地域の連帯感を高めるとともに、地域住民と調布市が地域の課題を共に考え解決していくために、地域住民が自主的に運営するネットワーク組織です。</p> <p>小学校区域をコミュニティエリアとして、令和2年度末で17の地区協議会が設立され、様々なまちづくり活動を展開しています。</p> <p>既設地区への支援を引き続き行うとともに、令和元年台風第19号の教訓を踏まえた緊急時の情報共有体制の構築や地区協議会相互の連携推進に取り組みました。</p> <p>また、未設立地区において、市内小学校で実施された避難所開設訓練の報告会に参加の声かけをするなど、積極的に情報提供を行いました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・未設立の3地区（深大寺、柏野、第二小地区）に対して設立の機運が高まるよう働きかけを行いました。</li> <li>・設立している地区協議会に対して、地域課題解決に向けたサポートを行うほか、積極的な活動のPRなど、支援を行いました。</li> </ul>

<p><b>8 ちょうふ地域コミュニティサイト（ちょみっと）の活用（協働推進課）</b></p> <p><b>決算見込額：938万5000円</b> &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;</p> <p>ちょうふ地域コミュニティサイト（ちょみっと）は、「生涯学習情報がす見つかるとシステム」を多様化する市民活動やライフスタイルに合わせ、より分かりやすく・より直感的に・そしてより多くの方に活用していただけるよう平成28年度に再構築し、平成29年4月に公開しました。</p> <p>生涯学習情報コーナーウェブサイト、市民活動支援センターホームページなど、点在していたイベント情報や団体情報を一括で検索するポータルサイトであり、「目的からさがす」や「地図からさがす」といった検索方法を備えることにより、より分かりやすい地域密着型の情報発信及び情報共有の中心的なサイトを目指し、運用しています。</p> <p>また、電子掲示板機能である「ちいさのけいじばん」は20小学校区ごとに設置し、簡単に投稿できる仕組みとなっています。</p> <p>ちょうふ地域コミュニティサイト（ちょみっと）の内容充実と活用促進を図るため、サイトのPRを行うほか、コロナ禍の状況を踏まえた情報提供、防災情報まとめページや地区協議会紹介ページの作成、地域活動情報紙「じょいなす」との連携などに取り組んでまいりました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ サイトを協働で運営するNPO法人調布市地域情報化コンソーシアム（CLIC）及び共管する文化生涯学習課と月に1回のシステム運営会議を実施するほか、年に1回、サイト連携における関連団体等と連携会議を実施し、「利便性の高いサイトに向けたシステム改善」、「活用促進・普及啓発」などに関して、情報の共有・課題解決など検討を重ねました。</li> <li>※令和2年度は連携会議を書面開催とし、情報共有及びアンケートを実施</li> </ul>
<p><b>9 ふれあいの家の整備（協働推進課）</b></p> <p><b>決算見込額：1億9264万2000円</b> &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;</p> <p>施設の機能回復を図るため、上石原ふれあいの家空調更新工事及び東部ふれあいの家外壁及び屋上防水改修工事（共に繰越明許費）を実施したほか、バリアフリーの観点から、玄関への手摺の設置やトイレの洋式化を行うなど、適宜、修繕に取り組みました。</p> <p>また、ふれあいの家の安定した施設運営を行うため、国領第二及び富士見町ふれあいの家の借地の用地取得を行いました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利用者の安全・快適性を第一に考えた修繕や、施設機能の向上を図りました。</li> </ul>
<p><b>10 地域福祉センターの整備（協働推進課）</b></p> <p><b>決算見込額：1億8575万1000円</b> &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;</p> <p>入間地域福祉センターにおいて、屋上防止・外壁・給排水・空調設備等の大規模改修工事のほか、施設のバリアフリー化を推進するため、入口の段差解消や手摺りの設置等の施設改善を図りました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利用者の安全・快適性を第一に考えた改修工事を滞りなく実施し、施設機能の回復・向上を図りました。</li> </ul>
<p><b>11 女性のための相談事業（男女共同参画推進課）</b></p> <p><b>決算見込額：508万1000円</b> &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;</p> <p>相談事業において、生き方、働く女性の人生、法律、健康、仕事についての来所相談及び電話相談事業を引き続き実施しました。</p> <p>また、参加者が共通のテーマで話すことで悩みを解決する糸口を見つけるグループ相談事業を実施しました。</p> <p>このほか、公共施設等に相談カレンダーを配架し、相談事業の周知に努めました。</p>	<p><b>【個別相談件数】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生きかた相談 385件（電話相談含む）</li> <li>・ 働く女性の人生相談 30件</li> <li>・ 法律相談 119件</li> <li>・ 仕事&amp;生活サポート相談 38件</li> <li>・ ヘルスケア相談 14件</li> </ul> <p><b>【グループ相談（ほっとサロン・しえいくはんず）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実施回数：7回</li> <li>・ 累計参加者数：20人</li> </ul>

<p><b>12 商店街活性化の推進（産業振興課）</b></p> <p><b>決算見込額：805万5000円</b> &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;</p> <p>商店会支援については、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、商店会が実施するイベント事業の中止（予定：18商店会26事業、実績：6商店会6事業）が相次ぎましたが、実施可能な事業を積極的に支援し、地域経済の回復に少しでもつながるよう取り組みました。</p> <p>また、商店会支援の一環として、商店街の街路灯に係る電気料金の補助について、補助率を上乗せし、全額補助とすることで、負担軽減を図りました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けた地域経済の回復を目指し、商工会や商店会等と連携して施策に取り組みました。</li> </ul>
<p><b>13 商工会事業の支援（産業振興課）</b></p> <p><b>決算見込額：1億6250万円</b> &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;</p> <p>新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けた市内事業者・商店会等に対する支援を商工会と連携して実施したほか、消費喚起効果を高めるため、地域経済対策会議の議論を経て、バイ調布運動の一環として商工会が実施する調布市独自の「スクラッチカード事業」とプレミアム付商品券事業を両輪で実施することとし、商工会補助金を増額補正し、実施しました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>商工会と連携し、新型コロナウイルスの感染拡大防止と社会経済活動の両立を推進しました。</li> </ul>
<p><b>14 魅力ある観光の振興（産業振興課）</b></p> <p><b>決算見込額：6877万8000円</b> &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;</p> <p>新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、観光振興施策の推進が困難な状況でしたが、感染防止対策を徹底しながら、実施可能な事業を確実に推進しました。</p> <p>「水木マンガの生まれた街 調布」の推進については、名誉市民水木しげるさんの御功績を称え、広く市民と偲ぶ取組である「ゲゲゲ忌」を、水木プロダクションや東映アニメーション等と連携して開催しました。</p> <p>「映画のまち調布」の推進では、観光庁の補助金を活用し、新たなロケツアーリズムコンテンツの制作に取り組んだほか、他自治体と連携したフィルムコミッション事業によるロケツアーリズムの推進に取り組みました。また、石原プロモーションが令和3年1月に解散したことを受け、石原プロモーション制作のドラマや映画・音楽に関連した展示、グッズの販売等を行いました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>イベント実施について、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、従前のようなにぎわいをどのように取り戻すのか、また、今後の観光振興をどのように推進していくのかなど、新しい日常への対応策の検討とともに、実施可能な事業を確実に推進しました。</li> </ul>
<p><b>15 中小企業・小規模事業者の支援（産業振興課）</b></p> <p><b>決算見込額：2億1254万6000円</b> &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;</p> <p>新型コロナウイルスの感染拡大により、経営に影響を受ける市内事業者の方を対象に、新型コロナウイルス感染症に係る相談窓口を開設したほか、緊急措置として、調布市中小企業事業資金融資あっせん条例を改正し、借入れ口数の増加や信用保証料の全額補助及び全額利子補給（当初3年間）など、制度の拡充を図りました。</p> <p>また、市内中小企業等が実施する新型コロナウイルスの感染予防に係る工事や備品購入等の費用に対する助成事業（調布市商工会中小企業等新型コロナウイルス感染予防対策助成金）のほか、中小企業の家賃支援給付に取り組む調布市商工会を支援しました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域経済対策会議の設置や事業所経営実態調査を実施し、市の実情に応じた施策の展開に努めました。</li> </ul>
<p><b>16 スーパープレミアム付商品券事業（産業振興課）</b></p> <p><b>決算見込額：26億6795万5000円</b> &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;</p> <p>商工会等と連携し、市内全事業所（要事前登録）で利用可能な商品券</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>換金率99.7%を達成することが</li> </ul>



<p>(購入額に対し、30%のプレミアムを付加)を発行することにより、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた、市民生活への支援と併せ、市内消費喚起による事業者の支援及び地域経済の回復・活性化へつなげる取組を実施しました。実施に当たっては、商品券の買い占めを防止するため、事前申込制としたことや、商品券の券種を全参加店で使用可能な共通券と大型店では使用できない限定券の2種類を作成したことで、中小規模店舗への利用促進につなげました。</p>	<p>できたことや、市購入窓口の混雑を避けるため、購入引換券の発送時期をずらすなど、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら実施したことで、感染症対策と社会経済活動の両立を図ることができました。</p>
<p><b>17 産業労働支援センターによる創業の支援（産業振興課）</b>  <b>決算見込額：760万6000円</b> &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;      市内での創業を促す取組として、相談会・創活塾（創業塾）等セミナーの充実を図りました。      創業しようとする方、創業して間もない方で、空き店舗等を賃借して開業しようとする方に対し、その空き店舗等の賃借料の一部を補助する創業チャレンジ支援事業に取り組み、創業者の支援に努めました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談件数：536件（暫定値）</li> <li>・センター利用者による創業件数：10件</li> <li>・よろず経営相談：23件（電話相談を含む）</li> </ul>
<p><b>18 いきいきとした農業経営（農政課）</b>  <b>決算見込額：3494万9804円</b> &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;      都市農業育成対策事業を活用して、認定農業者と農業経営に意欲ある農業者に農業用資材の購入、農業用機械設置等の経費を補助することにより、農業を安定的に継続できるよう支援しました。      市民ニーズの高い安全・安心な農産物の品質の向上と供給を図るため、有機栽培の推進などの取組を支援し、有機栽培を行う農家に有機質肥料を支給しました。      都市農地保全支援プロジェクトでは、防災兼用農業用井戸の設置や、畑の土砂流出を防ぐ土留めの設置等、農地の持つ防災機能の強化や、地域環境に配慮する取組を支援しました。      また、都市農業活性化支援事業では、認定農業者等意欲ある農業者の経営力強化のため、パイプハウスや鉄骨ハウス等の農業生産施設整備事業を支援しました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認定農業者を2件（2名）増やし、都市農業の経営力強化を推進しました。</li> <li>・都市農業育成対策事業を活用した支援を実施しました。</li> <li>・有機栽培を行う農家110件に、有機質肥料（3777袋）を支給しました。</li> <li>・都市農業活性化支援事業を活用した支援を実施しました。</li> </ul>
<p><b>19 農のある地域づくり（農政課）</b>  <b>決算見込額：1230万5772円</b> &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;      市内で生産された新鮮で安全・安心な市内産農産物の消費拡大をより多くの市民に図るため、農産物直売所マップをリニューアルするとともに、JAマイنز等の関係機関と連携して市内産農産物の直売を促進しました。      また、農作業を通じて自然に親しみながら生産の喜びを味わえる市民農園を確保するほか、農家の指導を受けながら農作業を楽しむことができる農業体験ファームの拡充を図ることにより、市民が農業とふれあえる機会づくりに取り組みました。      さらに、農産物の収穫までの過程を体験することによって、農業の大切さを実感できる学童農園やふれあい体験農園を実施し、生産者との交流を通して食育を推進しました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業体験ファーム及び市民農園の確保に努めました。</li> <li>・都市農業育成対策事業を活用した支援を実施しました。</li> <li>・有機質肥料を配付し、有機栽培の促進を図りました。</li> <li>・市民ふれあい体験農園や学童農園を実施し、都市農業への理解促進を図りました。</li> <li>・農産物直売所マップをリニューアルしました。</li> </ul>
<p><b>20 農地の保全・活用（農政課）</b>  <b>決算見込額：992万5000円</b> &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;      都市農地保全を推進するために、防災や環境保全など農地の多面的機能を一層発揮させるための施設整備など、農地保全に意欲的に取り組む</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定生産緑地の指定に向けた取組を進めました。</li> </ul>

<p>農業者及び農業団体が行う農地保全の取組に対して、ソフト・ハード両面から支援しました。</p> <p>また、都市農地を保全していくため、生産緑地地区の追加指定と併せて、特定生産緑地の指定に向けた取組を進めるとともに、農業経営の支援や市民農園の運営、農業体験ファームの支援に取り組むことにより、都市農地の保全・活用に努めました。</p> <p>さらに、都市農地の貸借の円滑化に関する法律の活用により、飛田給駅周辺に農業体験ファームを新規開設しました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「都市農地保全支援プロジェクト」を活用し、農地の保全・活用の取組を通して農業経営を支援しました。</li> <li>・ 農業体験ファームを新規開設しました。</li> </ul>
<p><b>21 スポーツ施設の整備（スポーツ振興課）</b></p> <p><b>決算見込額：2億2628万3000円 &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;</b></p> <p>市内の各スポーツ施設について、公共建築物維持保全計画を踏まえて、市民が安全で快適に利用できるよう、老朽化に伴う施設の改修工事の実施等、施設の整備・維持管理に取り組みました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 総合体育館空調設備借上げ（夏季限定）</li> <li>・ 総合体育館及び西調布体育館の空調設備設置工事</li> <li>・ 総合体育館の特定天井及び床等改修工事</li> <li>・ 調布基地跡地運動広場グラウンド整備工事</li> <li>・ 大町スポーツ施設小運動場人工芝改修工事</li> <li>・ 市民多摩川テニスコート施設整備に向けた隣接地取得</li> <li>・ 大町スポーツ施設体育館空調整備工事（繰越明許費）</li> <li>・ 大町スポーツ施設大運動場防球ネット増設工事（繰越明許費）</li> </ul>
<p><b>22 東京2020大会等を契機としたスポーツ振興による多面的効果の創出（スポーツ振興課）</b></p> <p><b>決算見込額：58万3000円 &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;</b></p> <p>東京2020大会後のレガシーを見据えたスポーツイベント等については、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した事業も多かったものの、東京都や東京都障害者スポーツ協会、FC東京や競技団体、体育協会等の関係団体と連携し、感染予防対策のうえ実施した事業により、コロナ禍でも市民がスポーツに親しむ機会の創出を図りました。</p> <p>とりわけ、障害者スポーツにおいては、福祉・スポーツ分野の関係者による協議体を活用し、東京都と連携した事業を実施するなど、障害者スポーツの振興に取り組みました。</p>	<p>【中止となった事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小学生ラグビー大会</li> <li>・ 小学生陸上体験教室</li> <li>・ 障害者スポーツ体験事業</li> <li>・ 26市連携の市町村ポッチャ大会</li> </ul> <p>【開催した事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中学生走り方教室</li> <li>・ 近隣3市によるラグビーフェスティバル</li> <li>・ 自宅でできる「簡単」エクササイズ（FC東京連携事業）</li> <li>・ NTT東日本バドミントン部と連携した動画配信</li> <li>・ 調布市障害者スポーツの振興における協議体の東京都との連携事業（講演会、福祉作業所への出張事業（2回））</li> </ul>

<p><b>23 FC東京等と連携したスポーツ振興等の推進（スポーツ振興課）</b></p> <p><b>決算見込額：236万7000円 &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;</b></p> <p>FC東京が行うサッカー教室等の地域貢献活動に対して経費の一部を補助するなど、その活動を支援し、市のスポーツ振興・青少年の健全育成・福祉・地域振興等のまちづくりを協働で推進しました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・FC東京に関する市民への情報発信</li> <li>・FC東京と連携した新型コロナウイルス感染症予防対策</li> <li>・JリーグYBCルヴァンカップ決勝に向けた応援企画及び優勝記念企画における、柏市や府中市・三鷹市との連携</li> <li>・子どもサッカー体験教室</li> <li>・指導者講習会のオンライン開催</li> <li>・あおぞらサッカー交流会</li> </ul>
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------